



お客さま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？ 今年桜の開花日が平年より二週間以上早まった地域もあり、新潟でもすでに満開を過ぎ、あつという間に葉桜となりそうです。開花予報を見ると北海道の開花が四月中旬、驚くような速さに戸惑いを覚えます。一方で鹿児島より宮城のほうが早く満開をむかえる南北逆転劇が起きているようです。これも気候変動の影響なのでしょう・・・。

さて、今回は地元新潟市の中心市街地についてのお話です。

先日、つかの間の春のうららかな陽気に誘われて新潟市中心部の「古町通り」を散策してきました。古町通りは新潟総領守の「白山神社」に繋がる一番町から十三番町まで続く商店街で、全長は約二キロ、町番号が小さいほうが上手（かみて）、大きいほうが下手（しもて）で、五〜九番町までが繁華街、十番町より下手は古くからの住宅街が形成されています。この古町通りを中心とした街を「古町」と呼び、かつてはデパートも大和、三越とありにぎやかなエリアでした。それが人口減少、郊外型の大規模店舗進出、世情の変化その他複合的な要因によって徐々に古町から人の流れが少なくなり、二〇一〇年にまず大和が撤退、そして三年前に三越が撤退したことで更に足を運ぶ人が減少、コロナ禍も追い打ちをかけ閉店する店が出るなど、非常に寂しい状況となりました。そこで再開発やイベント開催などで活性化を図っていますが、残念ながら、かつての賑わいまでは取り戻す状況にはないようです。

白山神社の門前、一番町〜四番町は上古町と言われ、古い長屋のような家屋や小規模な店舗も軒を並べるエリアです。商店主たちが有志でまちづくり推進協議会を立ち上げ、活性化策を講じてきており、空き家屋や店舗を利用して若い人たちが洋服、シューズ、小物、飲食店などを開店し、イベント開催なども合わせ活性化を図ることで人の流れが戻りつつあるようです。この日私は古町通り一番町から九番町まで歩いたのですが、上古町界隈は白山公園から信濃川の土手添いにある桜並木の花見の行き帰りで人通りが多く、飲食店も順番を待つ人の列ができるなど活気がありました。

また古町界隈には縦横に小路が多くあり、割烹や料亭、かつては芸妓さんの置屋だった建物を改装した料理店、有名な料亭で修業し、新潟に戻って料理店を開いたなど、多様な飲食店が立ち並んでいます。小路にもそれぞれ名前があり、老舗料亭の名前が通った通り、かつて堀があった名残の名前の通りなど風情があります。こちらでもコロナ禍にもかかわらず予約がなかなか取れない人気店もある反面、影響を受けて閉店を余儀なくされたところもありました。

信濃川を挟んで対岸にある新潟駅周辺にも繁華街はありますが、やはり古町エリアのほうが風情があり、どちらかというところ「大人の街」といった感があります。市は駅から古町を結び「新潟2キロメートル」と名付け活性化を図ることで市全体に活力を波及させ、成長のエンジンとすることを目指すとしていますが、開港五港の一つである新潟港を含め、どうも全体的な「まちづくり」にデザイン性と統一性が？という感があり、せつかく良い素材があるのにうまく活かせていないことが残念です。

## 21世紀のビールの原料は麦芽と多様性

生産部 資材 島貴 修一

ここで問題を出します。

問題 1 「ビール=麦芽+ホップ」この公式はいつから始まったものですか。

答え 1516年バイエルン公国のヴィルヘルム4世が制定した「ビール純粋令」から。

問題 2 「ビール純粋令」以前のビールはどのような飲物だったのですか。

答え 古代メソポタミアやエジプトで飲まれていたビールは、パンを水に浸して発酵させた酸味のある液体に、果汁や蜂蜜を足して飲みやすくした飲物。もしくはロシアの健康飲料クワスのようにそのまま飲んでいたかもしれない。その後ヨーロッパに広がる中で、麦芽を使い果汁・蜂蜜・香草・薬草（ホップも薬草）・スパイスなどを加えた様々なビールが醸造されていた。

問題 3 なぜ「ビール純粋令」が制定されたのですか。

答え ヴィルヘルム4世がホップ好きだったのか、ホップ生産者との利権が絡んでいたのかは知らないけど、当時は怪しげな薬草や毒草入りのビールも売られており、ホップに統一することでこれらを一扫できた。また衛生という概念の無い時代では醸造設備も水も不衛生で、ホップが殺菌・腐敗防止に役立った。ホップの爽快な苦味も好まれたそうだ。そして・・・

あれから507年。医学・公衆衛生と醸造技術の進歩で、ビールは安心して飲める時代だ。それなのにビールの大多数はホップ入り。多様性（流行語で言えばdiversity:ダイバーシティ）のある社会を目指す21世紀なのに、ビールは正反対の「画一性」に507年間支配されている。まるでホップ依存症。ホップを使わないとヴィルヘルム4世の幽霊が出てくるのだろうか。幽霊が出るのだったらぜひ会って問い詰めてやりたいから、ドイツ語通訳の幽霊も連れてさっさと出てこい。

もしも「ビール純粋令」が無かったら、ドイツ・東欧のビールはホップ（冷涼地の植物）入りが主流でも、暖かい南欧や暑い西アジアでは異なったビールが飲まれていたはず。そして「ビール=麦芽+各地の多種多様な副原料」が公式になり、世界各地で507年間進化した個性的なビールが飲まれているでしょう。日本の副原料なら柿・梅・柚子・紫蘇・ワサビかな。柚子ビール飲んでみたい。

追伸：医学的にはアルコール度数の高い酒を日常的に飲む弊害は明らか。しかし発酵で造られるのはアルコールだけではなく、身体に有益な成分も多く含まれている。低アルコールのビールを適度に飲めば、これらの「発酵の恵み」を享受できる。ピラミッド建設の労働者もビールを飲んでいただのかもしれないそうだが、もしそうだとしたら「発酵の恵み」もピラミッド建設の原動力になる。

## ■【ペット=家族】

# 我が家のペット

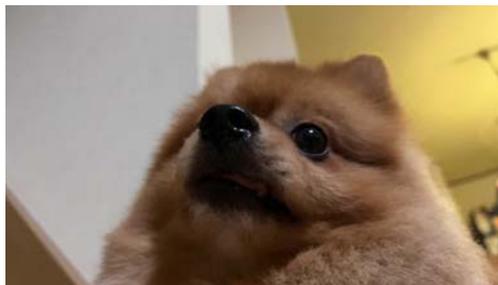
技術営業部 係長 肥田 勝弘

数年前になります。この場で我が家の愛犬“だんご（画像）”について、お話をさせていただきました。思い返してみると、私が物心付いた頃からペットがいる生活でした。父親が生き物好きな影響で、犬・猫は当然ながら、変わりダネとして、フクロウ、シマリス。昆虫類は、自家繁殖させていました。カマキリが卵からふ化した時は、部屋に子カマキリ祭りで親に叱られた事も。まあ生命あるものは、拒まずでした。命の大切さを自然と学んでいたんだなあと。昨秋、8年程可愛がっていたウサギが天国へ。家族全員涙、涙、涙。ショックから日々課された責務を放棄する者も（涙・笑）

また、久しぶりにペット火葬を体験したのですが、人間とほぼ一緒な内容で驚きました。骨壺に入って今も家にいます。ペットとして迎え入れる以上、最大限の愛を注ぎ、大切に時間を過ごす。必ず来る、別れはとても辛いですが、これからもペット無し生活は想像できません。なぜなら、いっぱい幸せをあたえてくれるから。

ただ、“だんご”の愛情表現の口元をペロペロするアレは、苦手な受け入れられません（笑）

ごめんな、だんご♡  
これからもよろしく。



## 今、はまっていることは？

### ■【日産ラシーン】

生産部 設計 白井 恵介

私は日産ラシーンを所有しています。ラシーンは、日産が1994年から2000年まで販売していたSUVタイプの車種で、スポーティで洗練されたデザインが魅力的です。私は学生の頃からそのデザインに惹かれ、一度は乗ってみたいと思っていました。

昨年、ついに程度の良いラシーンを手に入れることができました。私はこの車で、趣味のドライブやアウトドア活動を楽しんでいます。ワインディングロードを走り、美しい景色を眺めながらドライブするのがお気に入りです。新潟市内にラシーンに特化した車屋があることもあり20年以上前に製造された車ですが楽しく乗っています。

しかし、苦労する事もしばしば、購入して2ヶ月で運転席のパワーウィンドウが閉まらなくなり、最近タコメーターがいかれました。この物価高のご時世に燃費7km/L、エンジンオイルの交換を怠るとエンジンが壊れるそうです。

いろいろ不便な車ではありますが、それを凌駕する愛らしさがあり、旅先で故障しない事を祈りながら長く乗れたら良いと思っています。



「新洋技研からサラリーを得る傍ら、プライベートでは釣り・山菜取り等を通して自然界からもサラリー（自然の恵み）を得る筆者の春夏秋冬サイドビジネス“珍”日記」

技術営業部 坂井 将之

### Vol.5 冬のサイドビジネス “エリアトラウト”

釣行日：2023.2月 場所：新潟県阿賀野市“五頭フィッシングパーク”

今まで冬の釣りと言えば、ここ十数年福島県檜原湖にワカサギ釣りを楽しんで来ましたが（Vol.1 参照）、私の住んでいる新潟県新発田市から檜原湖までは雪道を片道約150kmの道のり……。出発時刻はいつも早朝2時とか3時とか……。毎回「チト遠いなあ」と感じつつも、楽しみな気持ちが上回り“初老の体”にムチを打ち頑張って通っていました。

その檜原湖に向かう道中、わが家から40分程度のところにニジマスなどを放流した管理釣場の五頭フィッシングパークがあり、いつも気にはなっていましたが、「所詮釣り堀だろ……」と馬鹿にして一度も行ったことがありませんでした。

しかし、昨今のガソリンの高騰や“自身の肉体の衰え”を考慮して、昨年のはじめて五頭フィッシングパークに足を運んでみたところ、ビギナーズラックで思いのほか好釣果♪ 今回2年目の初釣りも楽勝楽勝♪と心躍らせ行ってきました。

朝8時、店主の釣り開始の合図で6・70人の釣り人が一斉に池ヘルパーを投込みます。最初は魚達もルアーを見慣れてないせいか池の中は魚が釣れるバシャバシャという音で大賑わい。最初だけは……。それが30分もすると最初の賑わいがウソのように静かになります。そこから先は、実力の世界……。釣る人は何十匹も釣るし、釣れない人は全く釣れない。池の中を見れば、沢山の魚達が泳いでいるのに見えるのに、見える魚が釣れない……。(-\_-) 上手な方はルアーをあれこれチェンジしたり、ルアーを泳がず深さを変えたりして数を伸ばすようですが、今年2年目の実力がない私、今回は“つ抜け”（10匹超え）すらならず……。見えない魚が釣れないのなら諦めもつくけれど、半日の遊漁料0,000円払って見える魚が釣れないのはアングラー（釣り人）としてどうしても諦めがつかない……。これから勉強してサイドビジネス営業品目に加えたいと思います。（笑）

入漁料考慮したらどうやってもビジネス不成立(>\_<)



## ◆ちょっと豆知識◆その55「製品レビュー(Airdogの巻)」

技術営業部 取締役部長 成田 護 ([mamoru@shinyo.co.jp](mailto:mamoru@shinyo.co.jp))

突然ですが、花粉症持ちです。

イネ、カモガヤ、オオアワガエリは猛烈に感受性が高く、花粉が直接肌に触れると蕁麻疹が出る位の重症です。

スギ花粉の飛散時期を過ぎてから症状が出ることから、原因を特定すべく健康診断のオプションでアレルギー検査を実施し(結構高額)、カモガヤとオオアワガエリに猛烈な感受性があることが分かったのが数年前。期せずしてその検査でスギ花粉の感受性もそこそこ高いことが判りました。

スギ花粉については自覚症状は全くと言っていいほどありませんでしたが、その後、加齢によるものか酒の飲み過ぎのせいかわかりませんが、年々症状が強くなるようになり、「近年で一番の飛散量」といわれる2023年に至っては日常生活に影響が出るような状況です。

かかりつけ医から抗アレルギー薬は処方してもらっていますが、今年はまだ効果なし。

鼻水、鼻づまり、くしゃみ、目の痒みと充血と腫れ、のどの奥の痒みと正に症状のデパート状態で、朝起きると鼻が詰まって口呼吸しているせいか口の中はカラカラ、目はジャバ・ザ・ハットばりに腫れてひどい状態です。

業務中に猛烈な眠気に襲われることもしばしばで、これはまずいと思い、あれこれ調べて高価ではありましたが「Airdog」なる空気清浄器を購入してみました。

製品の詳細は調べれば山ほど出てきますし、SNS上での広告や早朝・深夜の通販CMみたいなのも目にする機会がありますから、既にお持ちの方も少なくないのではないかと思います。

理科系出身としては再現性が気になりましたので、Airdogを点けての翌朝と、点けない翌朝をそれぞれ5回ほど試しましたが、点けない朝は100%「ジャバ目」でした。

パーティクルカウンター的なものでモニターしているようで、空気の清浄度が常時数値で示されます。追従性も高く、窓を開けるとみるみる数値が上がっていきますから、センサーの感度もバッチリなようです。

n=1 ですからどれくらい信憑性があるかは保証の限りではありませんが、少なくとも私は、購入後に安らかな睡眠を再び手にすることができました。

カモガヤシーズンが終わる6月末まで頑張ってもらおうと思います。

## 悔しくて

基幹事業部 トチム 角田 義秋

またしても、下手な趣味のお話で恐縮です。

今回は下手なギターの話をしたと思います。私が初めてギターを手にしたのが確か20歳の頃、自宅がちょっとした水害に見舞われ前職の会社から見舞金を頂いたので、それを元に以前から欲しいと思っていたギターを買いました。

友達に勧められるまま、クラシックギターを買いました。当時はギターの事は何も知らず、楽譜もコードも全然分からず音感だけで勝手に弾いていました。ところがある日友達がそれを見て「お前何やってるの?」と。そこで友達にチューニングから音階まで教えてもらいました。その友達は既に上手くて特に「禁じられた遊び」をととても綺麗に弾いていました。それを何度も何度も聞かされ教えられ、なかなかできなくて悔しくて仕方なかった事をおぼえています。それから右手の3本の指先が水膨れになっては破れ、また水膨れになりを繰り返す数か月経って何とか弾けるようにはなりました。それからコードを覚えて弾き語りが出来るとフォークソングや歌謡曲なんかも出来ると思い、コードを練習するようになりしました。息子が3歳位の時、ギターで良く童謡を唄わせました。「トンボのメガネ」や「時計のうた」など結構喜んで歌ってくれました。丁度その頃グループサウンズが全盛でエレキギターが流行り始めていました。ドラムを練習していた友達からバンドを作らないか?とさそわれ、リードギター、ベースギター、サイドギター、ドラムスの4名で結成しました。私はコード専門サイドギター担当です。毎日良く会社の娯楽室で練習しましたが、素人の集まりでなかなかうまくいきません。それでも2か月位すると何とか聴けるようになりました。当時のグループサウンズの曲やエレキギターと云えばベンチャーズでしょうという事で「パイプライン」や「アパッチ」など良く練習しました。そして社内の文化祭のイベントで2曲演奏しました。まあ、そこそこ拍手を頂きました。

それから数年間は趣味と自己満足程度で、たまに弾き語りをやる程度でギターに触る事が少なくなっていました。そんな日常が続くなか、ある日横浜に住んでいる甥から連絡があり、「今度結婚することになりました。叔父さん確かギター弾けたよね。披露宴で何か歌ってください」と無理なお願い。その日から急ぎ練習を開始して、ギターを1本持って横浜崎陽軒の結婚式場で歌いました。歌った曲が月並みですが「乾杯」。

これをきっかけにまた、ギターに触るようになりしました。今から3年ほど前、まだコロナ渦が始まりかけた頃、知り合いの割烹で記念イベントをやるのにビンゴゲームの後カラオケ大会をやりたいとの相談があり、ギター伴奏をすることになりました。イベント参加者約30人、3分の2は20代後半の人達で、大盛り上がりしました。

今ではたまに気が向くと自己満足で弾き語りする程度です。痴ほう症の予防にいいかな?